

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立藤尾小学校

【調査目的】

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・上記の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【今年度の調査について】

今年度の調査は、昨年同様、国語と算数の2教科で行われた。出題傾向は、思考力・判断力・表現力を測る等の従来通りの内容に加え、統計データの活用力や資料を活用して自分の考えを伝えるための表現の工夫といった、2020年度から全面実施された新学習指導要領で新たに盛り込まれた内容も含まれていた。

【学力調査の状況と学習状況について】

本校の解答結果から、どちらの教科においても「読み解く力」に課題が残ることが明らかになった。例えば国語では、スピーチ内容や画面に提示する複数の資料を読み取り、それらを用いて表現する力が問われた。しかし、提示された文章や資料を正確に把握・理解できていないことから、設問の意図に沿った解答が行えていなかった。算数では、グラフやアンケートから様々な特徴を読み取り、正解を導くための考え方を数式や言葉で説明する力が問われた。国語に比べ算数では正答率は上がっているが、データの読み違いや計算ミス等、些細な箇所での誤答が見受けられた。逆に、選択式・短文式解答では、上述した長文式解答より比較的良い結果を残すことができた。基礎的な知識や学習内容の理解は、朝の学習活動や学力補充の時間、家庭学習等を通して身に付いてきていると考えられるが、様々な課題解決や応用する場面で活用できるような取組の方法も考えていく必要がある。

また、本校では、国語では目的に応じて自分の考えを発表したり、理由を考えたり、友だちの考えと比較したりする学習活動を行ってきた。算数でも、問題を解くための様々な方法を考えたり、比較したりする活動を行ってきた。そうした活動の積み重ねが、児童の学力向上に直結するように、更に課題の明確化と授業の改善に努めていきたい。

【生活状況について（児童質問紙）】

朝食、就寝、起床等の生活習慣については、80%以上の児童が規則正しく行っていると回答している。但し、平日にテレビゲーム等を行う時間が1日当たり3時間以上の児童が38%、2時間以上の児童を含めると53%以上に上っている点が気になる。実際に生活習慣が不規則な児童にゲーム時間の多い傾向も見られる。また、1日当たりの読書時間が30分以上の児童が34%であることも低迷する学力に大きく関わっているものと考えられる。

自己肯定感については、61%が自分の長所を認めているが、自分に対する自信の無さは「失敗を恐れなくて挑戦する」の61%、「自分の思いを言葉で表す」の65%などに関連付けて考えていかなければならない。

ICT機器が学習に役立つと回答した児童は全員であり、児童がその有用性を感じ、積極的な活用を通して学習への関心や意欲を高めていると考えられる。コロナ禍における学校休校期間中に「勉強への不安を感じた」児童が65%、休校中に「計画的に学習できなかった」児童が38%いることを考えても、ICT機器を活用した家庭学習やそれを支援するためのシステムの構築は急務であろう。

【指導の充実に向けて】

1. 「めあて」と「振り返り」を徹底する。
→ 授業の最初に1時間のめあてを明示し、学習の見通しを持たせる。授業の最後に、めあてに対する振り返りの時間を取り、児童一人ひとりが自分の考えを持ち、意見交流を行ったり文章にまとめたりできるように指導する。
2. 話し合い、学び合う活動を授業に積極的に取り入れる。
→ 学級活動において、児童一人ひとりが根拠を示しながら自分の考えを述べるように支援すると共に、そうした活動が他の教科の学習にも生かされるように働きかける。
3. ICT機器の積極的に活用する。
→ 電子黒板やタブレットなど、ICT機器を有効活用し、児童の学習への興味・関心を持続向上させる。コロナ禍での休校に備えて、オンラインでの学習環境を整備し充実させる。
4. 基礎学力の向上に取り組む。
→ 新しくなり利用し易くなった図書室を積極的に活用する。朝のチャレンジタイムや学習教室を通して、基礎学力の向上やつまづきの克服に取り組む。『家庭学習の手引き』を有効活用すると共に、通信や懇談会において学習の現況について説明する。
5. 自己肯定感を高める取組を充実させる。
→ 学習活動はもとより、係活動や委員会活動、行事などに自主的・自発的に取り組めるように支援する。毎月の「あいうえおアンケート」や教育相談旬間を通して、児童一人ひとりに寄り添い、安心感のある学校を目指す。

